

6-2 文化・芸術の振興

○文化施設4館運営の充実 継続

文化施設4館(篠山城大書院、歴史美術館、武家屋敷安間家史料館、青山歴史村)を、「ふるさと篠山」が学べる場として活用します。また、特別展・企画展により篠山の歴史文化を発信します。

○交響ホール主催事業の実施 継続

「人形劇・11ぴきのねことあほうどり」や「桂文珍ふるさと独演会」など、子どもから大人まで誰もが楽しめる公演を実施するとともに、市民自らが企画する市民企画事業を支援します。



歴史美術館特別展

6-3 伝統や文化、自然遺産に学ぶ教育の充実

○脊椎動物化石の保護・活用事業 拡充

「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」に基づき、篠山層群及び脊椎動物化石の調査研究・保護活用を進めるとともに、丹波並木道中央公園に展示研究・発掘体験ができる拠点施設を整備します。また、全ての小学校で篠山層群や化石について学ぶ校外学習プログラムを実施します。



化石発掘体験



化石校外学習(篠山小学校)

施策の基本方向7 郷土を愛し誇りに思う人材育成の推進

7-1 人権尊重の精神に基づく「共生」の心の育成

○あいさつの実践 継続

あいさつは篠山市を挙げて取り組む、人権施策の大きな柱です。学校・家庭・地域が連携した啓発・実践活動に継続して取り組み、明るく温かいまちづくり、学校づくりをめざします。

7-2 ふるさと篠山を愛する心の育成

○篠山の魅力に学ぶ社会教育事業の実施 継続

「篠山市民文化講座」「丹波ささやまおもしろゼミナール」「古文書入門講座」など、篠山の歴史・文化・伝統・自然に触れる社会教育事業を通して、篠山の魅力を伝える地域人材の育成に努めます。



川探検活動(味間小学校)



道るべめぐり(おもしろゼミナール)

7-3 学校給食の充実と地産地消の推進

○篠山産コシヒカリ・地元食材を活用した学校給食の充実 拡充

教育大綱を踏まえ、篠山産コシヒカリをはじめとした地元食材の活用率向上に努めます。また、地域の食材をいかした献立で「全国給食甲子園」への出場をめざします。



ぎょく出前授業(城東小学校)

○特色ある献立づくりの充実 継続

幅広い食品の使用と多様な調理法を取り入れ、「食」の大切さを感じる献立づくりを進めます。また、愛媛県愛南町との「交流給食献立」を実施します。

○食文化の継承と創造 継続

「郷土味学講座」や「かぞくdeおいしいなごクッキング」により、食文化の継承と創造、家庭の食育力の向上に努めます。また、郷土料理のレシピ集を新たに作成し、普及・啓発に活用します。

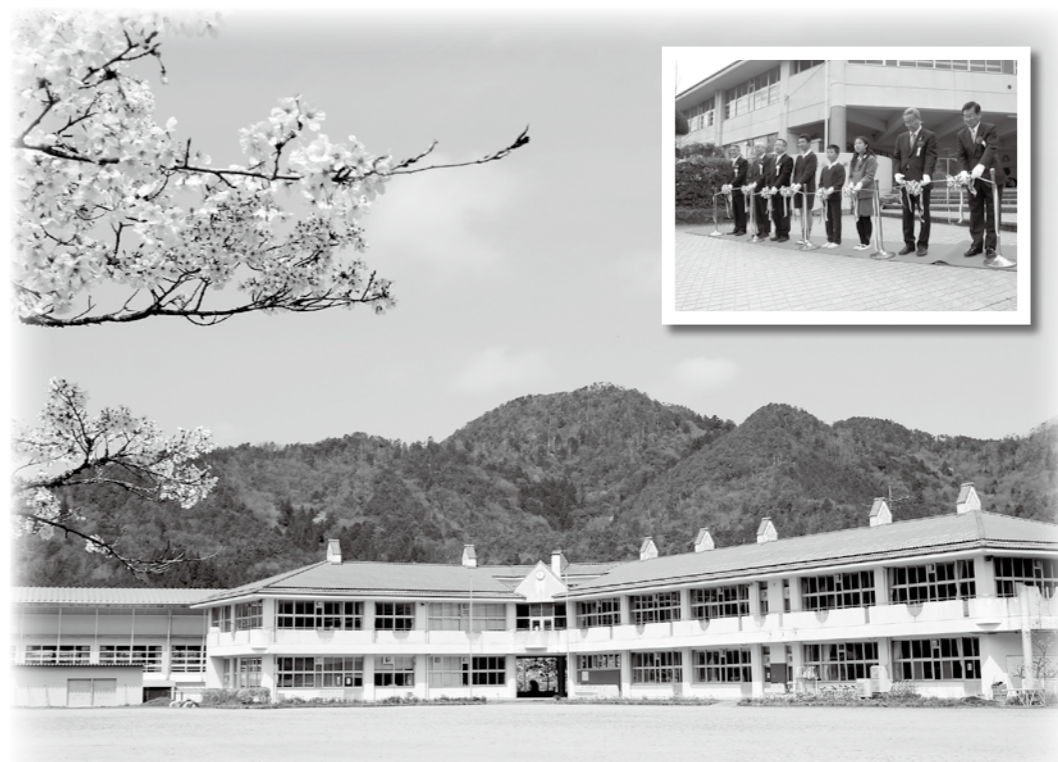


愛南町との交流給食

平成28年度

主要施策版

篠山の教育



平成28年4月1日 篠山市立多紀小学校開校

— It takes a village to raise a child —

これは、「子ども一人育てるには、村中の人が必要」というアフリカのことわざです。篠山市では、今年度、すべての学校でコミュニティ・スクールを実施します。子どもを真ん中に、村中の大人たちが温かいまなざしで見守り、手をさしのべ、時に厳しく相対する風土を作ることのが大切です。コミュニティ・スクールを起点として、自分たちの「村(地域)」で築いた子育て文化が、次代に受け継がれるよう取り組みます。

平成28年度 篠山の教育 (主要施策版)

発行：篠山市教育委員会 (兵庫県篠山市北新町41)

問い合わせ：篠山市教育委員会事務局教育総務課 TEL 079-552-5709

篠山市教育委員会

●●●●●●●●●● 教育理念 ●●●●●●●●●●

『一人一人が光り輝き、生きがいをめざす』

～子どもが一所懸命に学び、地域とともにある学校づくり～
～学びの機会を充実し、学習の成果が実感できるまちづくり～

●●●●●●●●●● 教育目標 ●●●●●●●●●●

次代に向けた教育環境づくりを進めます

- ☆味間認定こども園、城東保育園の施設整備を進めます。
- ☆大規模改修計画に基づく学校施設の老朽化対策工事を実施します。
- ☆畑グラウンド施設の整備を進めます。

乳幼児期における「生きる力」の土台を育みます

- ☆「眠育」「食育」「あそび」を総合的に推進する「ふた葉プロジェクト」に取り組みます。
- ☆「体幹」を鍛え、「五感」を発達させる保育・教育活動を展開します。

子どもの「生きる力」を培い「創造性」を伸ばします

- ☆学校・家庭・地域の連携のもと、子どもの生きる力を育む教育を推進します。
- ☆コミュニティ・スクールを全学校に導入し、地域とともにある学校づくりを推進します。
- ☆豊かな心を持ち、自立して未来を生きる人材を育てます。
- ☆情報モラルをはじめとして、青少年の健全育成を推進します。

学びの成果が実感できるまちづくりを進めます

- ☆生涯にわたりスポーツ活動に取り組める環境の充実を図り、市民の健康増進を支援します。
- ☆歴史文化を活かし、日本遺産のまちとして篠山文化の高揚を図ります。
- ☆地域に学び、ふるさと篠山の良さを学ぶ社会教育・生涯学習の実践を支援します。
- ☆「図書館ビジョン」に基づき、人と本・知識・情報を結ぶ知的空間の創造に努めます。

郷土を愛し地域を誇りに思う人材の育成を推進します

- ☆「丹波篠山学」「学校のヒーロー」など、篠山に根ざしたふるさと教育を推進します。
- ☆「視聴覚ライブラリービジョン」に基づき、地域映像を活用した人づくり・まちづくりに取り組みます。
- ☆篠山の食文化と篠山産食材をいかした学校給食を提供します。
- ☆市民が行う文化芸術活動の場を拡げ、新たな文化の創造と文化力の向上に取り組みます。

共有する道しるべ

- 一.「おはよう！」人より先にあいさつをしよう
- 一.「ありがとう」感謝の気持ちをもとう
- 一.「どうしたの？」気づきを大切にしよう
- 一.「ちょっとまって！」勇気をもって行動しよう
- 一.「ごめんなさい」素直に謝る心をもとう

施策の基本方向1 自立して未来を切り拓く態度の育成

1-1 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

○キャリア形成の支援 継続

「キャリア教育推進体制の整備」「キャリアプランニング能力(夢や目標を持ち、具体の計画を立て、それに向かって進んでいく力)の育成」「社会参画への意欲・態度等の育成」「多様な体験活動の実施」を通して、社会的自立に必要な態度や能力を育てます。



林業体験(西紀小学校)

○小中連携心のサポート事業の実施 継続

9年間の発達や学びの連続性を踏まえ、キャリア形成の支援や生きる力の育成が図れるよう、小中連携のあり方について、実践的な研究を行います。また、小・中学校連携の充実にも取り組みます。



カウンセリング・マインドの取り組み(篠山東中学校)

1-2 体験教育の推進

○環境体験事業・自然学校の充実 継続

小学3年生を対象とした環境体験事業や小学5年生を対象とした自然学校を実施し、自然に対する豊かな感性、命を尊ぶ心、問題を解決する力など、児童の「生きる力」を育みます。



ツリーイング体験(城南小学校)

○「トライやる・ウィーク」「『トライやる』アクション」の充実 継続

地域の中で行う社会体験活動を通して、感性や創造性を高め、自らのあり方や生き方、地域とのつながりを考えるきっかけになるよう、生徒の主体性を尊重した活動の推進に取り組みます。



トライやる・ウィーク(篠山中学校)

1-3 グローバル化に対応した教育の推進

○外国語指導助手(ALT)の活用 継続

ALTと英語担当教員との連携により、小学校では、外国語の音声や基本的な表現など基礎を養い、中学校では、英語で自分の考えや意見を述べるなど、コミュニケーション能力を育成します。



ALTに英語でお手紙(旧大羊小学校)

○国際理解教育の推進 新規

外国に関する文化や伝統等、様々な知識を有する地域人材などをゲストティーチャーとして招き、国際理解や多文化共生について主体的に考え、行動しようとする態度を育みます。



ハロウィンを楽しもう(旧福住小学校)

○「わたしたちの篠山市」「篠山ふるさとガイドブック」の活用 継続

小学校社会科の補助教材に、3・4年生は「わたしたちの篠山市」を、5・6年生は「篠山ふるさとガイドブック」を活用し、篠山市の様子や自然・歴史・文化について学ぶ取り組みを充実します。

施策の基本方向2 子どもが健全に育つ環境づくりと就学前教育の推進

2-1 “子育ていちばん”に向けて

○幼児のうたまつりの実施 継続

市内の認定こども園・幼稚園の4・5歳児を対象に、プロの演奏家による生の音楽に触れる機会を提供することで、豊かな感性を磨きます。



自然体験活動(西紀みなみ幼稚園)

○乳幼児の心身づくり 継続

全ての公立認定こども園・保育園・幼稚園で、園を離れて地域の中で活動する保育や、枝豆のもぎとりなど季節物や特産物を生かした自然体験活動に取り組み、子どもたちの健全な心身の育成を図ります。

2-2 子どもの根っこを育てる環境づくり

○ふた葉プロジェクトの推進 継続

乳幼児期の「眠育」「食育」「あそび」を総合的に推進するため、「ふた葉プロジェクト」を継続し、家庭と連携しながら、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に取り組みます。今年度は、「朝ごはんをしっかり食べよう」「思いきり外で遊ぼう」など、子育てで大切なことを伝える「篠山版子育て日めくりカレンダー」を作成します。

2-3 幼保一体化の推進と就学前教育の充実

○城東保育園の施設整備、旧きよたき幼稚園の耐震補強 新規

城東保育園については、園児数の増加に対応するため、0・1歳児保育室を増築します。旧きよたき幼稚園舎については、たき幼稚園の移設に向けて、耐震診断調査・耐震補強工事を進めます。

○子どもの体幹を鍛え、五感を発達させる保育・教育活動 継続

全ての公立認定こども園・保育園・幼稚園において、からだの土台・軸を鍛え、動きやすく・転びにくいからだづくりを意識した保育を実施し、姿勢を正すことへの啓発を図ります。また、五感(触覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚)を鍛え、脳をバランスよく発達させます。

○預かり保育事業の充実、味間認定こども園の施設整備 拡充

幼稚園教育時間終了後に保育を受けることができない園児に対して、預かり保育を実施します。古市地区の預かり保育として、古市幼稚園舎内で新たに開設します。

味間認定こども園については、保育ニーズに応えるため、西吹地内に新園舎を建築し、現在のおとわ園とすみよし園を1箇所まとめて平成28年7月に開園します。

2-4 子ども・子育て支援の体制づくり

○病児保育事業の実施 新規

病気の時や病気の回復期の子どもを保育できるよう、市内の医療機関内に1施設を開設し、子育てと就労の両立支援を図ります。

○放課後児童健全育成事業(児童クラブ)の充実 拡充

小学校の授業終了後に保育を受けることができない児童に対して、生活の場を提供し、仲間づくりや生活指導を行います。大山地区・古市地区において開設した施設の充実と、多紀地域においては、チルドレンズミュージアム内に新たに開設した民営施設の支援を進めます。

施策の基本方向3 生きる力を培い創造性を伸ばす教育の推進

3-1 確かな学力の確立

○篠山市学力・生活習慣状況調査の実施 継続

篠山市独自の調査を継続し、学力の定着状況を把握・分析するとともに、効果的な指導方法の研究・普及・啓発に取り組みます。また、教育大綱に掲げる「一人も見捨てない」を踏まえ、つまづきやすいところを把握して、確実に学力を定着させるための補充指導を行います。

○学力向上プロジェクト事業 継続

「学力向上プロジェクトチーム」を設置して、確かな学力の定着に向けた方策を研究します。また、全学校でアクティブラーニング(主体的・協働的学習)などの視点を取り入れた授業改善に取り組みます。



グループ学習(八上小学校)

○問題データベースの活用推進 継続

各教科の問題データベースを活用し、基礎的な知識・技能の定着や学習生活習慣の確立をめざすとともに、学力調査等で明らかになった課題のある領域の課題解決を図ります。

○読書活動の充実 拡充

学校図書館支援員を2人に増やし、全小学校へ派遣することで、読書活動・読書環境の整備・充実に取り組みます。また、自分の思いや考えを文章にまとめる活動により、言語能力の向上を図ります。

3-2 豊かな心の育成

○道徳教育の充実 継続

「私たちの道徳」、「兵庫版道徳教育副読本」、「地域教材」を活用し、主体的に人生や社会を切り拓くための社会性や規範意識、思いやりの心などの道徳的実践力を伸ばします。



ロールプレイによる道徳教育(今田小学校)

○学校における人権学習の充実 継続

全ての教育活動を人権教育の視点で捉え、自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる態度や資質を育成します。中学校では、全生徒が人権作文に取り組む機会を設定します。



手話言語を学ぼう(今田中学校)

3-3 健やかな体の育成

○「篠山市小・特別支援学校陸上記録会」「体力・運動能力調査」の実施 継続

小学校・特別支援学校の小学6年生が一堂に会した陸上競技の記録会や、体力・運動能力調査を継続し、運動能力の向上と体力づくりへの関心・意欲を高めます。また、生涯にわたりスポーツを楽しもうとする意欲を高めます。



体育での表現運動(岡野小学校)

○少年期における胃がんリスク防止の取り組み 継続

中学1年生を対象に、胃がんリスクの原因であるピロリ菌尿中抗体検査を実施し、検査結果により、精密検査および除菌治療につなげます。

○京都大学と連携した疫学研究 新規

学童期の生活習慣や食習慣が、将来の病気の大きな要因となっていることから、京都大学が進める疫学研究に協力し、子どもの生活習慣改善の一助とします。

3-4 特別支援教育の充実

○「障がいのある幼児児童生徒への合理的配慮の提供」新規

「合理的配慮」とは、障がいのある子どもにとっての社会的障壁を取り除くために必要な教育上の配慮のことで、子どもの特性の正確な把握に努めるとともに、安全で円滑に学校生活を送れるよう合理的配慮の提供と環境整備を進めます。



現場体験実習(養護学校)

○特別な支援を必要とする子どもの早期発見・早期支援 継続

臨床心理士、保健師等が認定こども園・保育園・幼稚園を訪問し、観察、助言、指導を行います。また、マークシートによる子どもの発達スクリーニング検査を実施します。

施策の基本方向4 子どもの学びを支える環境づくりの推進

4-1 安全安心で質の高い学習環境の整備

○地域に信頼される安全で安心な学校園づくり 継続

安全管理、安全教育、組織活動を通して、未然防止、救急対応に係る体制を充実し、安全で安心な学校園づくりを進めます。また、地域学校園安全委員会を中心に、情報の共有化を図ります。



消防署の仕事に学ぶ(西紀南小学校)

○学校施設の大規模改修 継続

古市小学校、丹南中学校で大規模改修工事を実施します。

○篠山産木材を活用した教育環境づくり 新規

「篠山市ふるさとの森づくり構想」に基づき、篠山産木材を使った机・椅子を、6カ年計画で全小学校に導入します。また、多紀小学校へは、ペレットストーブ1台をモデル的に導入します。



木の机

4-2 地域とともにある学校づくり

○コミュニティ・スクールの推進 【拡充】

全ての学校をコミュニティ・スクール研究推進校に指定し、家庭・地域がより主体的に学校運営に参画する新しい仕組みづくりを進めます。また、「丹波篠山学」(丹波篠山を学ぶ授業)の実施や、地域の動植物をテーマとした「学校(地域)のヒーロー」をつくる取組を進めます。



あもち芋(大山小学校)

デカンショ祭灯籠作成(西紀中学校)

○子どもの居場所づくり推進事業の充実 【継続】

地域が関わり子どもを育む「通学合宿」や「トライしようDAY」を通して、地域の教育力の向上をめざします。



トライしようDAY(西紀北小学校)

4-3 家庭の教育力の向上

○PTCAフォーラムの開催 【継続】

青少年育成に関する事例発表などとおして、地域ぐるみで子どもたちを育てることの大切さを再認識し、思いやりと郷土愛を持った子どもの育成をめざします。

○家庭教育支援事業の実施 【継続】

親子のスキンシップや親同士の交流・仲間づくりができるよう、「親子スイミング講座」、親子の絆づくりプログラム「赤ちゃんがきた」を実施します。



親子スイミング講座

4-4 教職員の資質能力の向上

○効果的・組織的な学校運営 【継続】

「学校評価ハンドブック」を参考に、全ての教職員が学校運営の成果や課題を共通理解したうえで、学校評価を実施し、PDCAサイクルによる運営改善に取り組みます。



外部講師を招いての校内研修

○いじめの防止等への的確な対応 【継続】

いじめ対応チームを中心に年間計画を整備し、いじめの未然防止・早期発見に努める体制づくりを推進します。また「学校いじめ防止基本方針」に基づき、適切かつ迅速な対応を行います。

○子どもと向き合う時間の確保 【継続】

「帰りがやすい雰囲気づくり～みんなですすめようノー残業デー～」をテーマに設定して教職員の勤務時間の適正化を図るなど、子どもと向き合う時間の確保を推進します。

4-5 インターネット社会への対応

○情報モラル教育・青少年育成の推進 【継続】

ネットワークの特性を踏まえ、コミュニケーションのあり方、情報発信に伴う責任、長時間利用による心身の健康への影響等について、児童生徒が自ら判断し考える学習活動の充実を図ります。また、保護者に向け、「子どもの成長に合わせた適切なインターネットの利用」「家庭のルールを子どもと一緒に考える」「携帯電話等へのフィルタリング設定」を啓発します。



情報機器取り扱い宣言(丹南中学校)

4-6 保幼小中高大の連携

○保幼小連携の強化、中高連携の推進 【継続】

小学校へのスムーズな移行をめざし、認定こども園、保育園、幼稚園と小学校の交流を深め、連携を強化します。また、中学校と高等学校の教員が連携し、継続的に生徒の学びを支えます。

○神戸親和女子大学との事業連携 【継続】

「スクールサポーター制度」を効果的に活用して、教育活動への学生の参画を推進するなど、協定に基づき、大学と篠山市の教育の充実・発展をめざします。



ふれあい運動会での幼小交流(古市幼稚園・小学校)

4-7 学校の適正規模・適正配置

○多紀地域における学校づくり 【継続】

統合した多紀小学校での円滑な学校生活を構築します。また、統合後における児童、保護者、地域住民の意識を把握するため、アンケート調査を実施します。

施策の基本方向5 市民が主体的に参画する生涯学習づくりの推進

5-1 「生涯学習」＝「3つのライフステージ」という考え方

○学習の成果が実感できる取組 【継続】

教育事業全体において、だれもが学習の成果を実感できるよう、3つのライフステージ(①就学前、②義務教育、③社会教育)による段階を踏まえた学習機会の創出に努めます。

5-2 学習ニーズに応える社会教育・生涯学習の振興

○篠山市高齢者大学の充実 【拡充】

「であい・ふれあい・まなびあい」をテーマに、高齢者一人一人の生きがいづくりの場を提供するとともに、オープン講座の取組など、高齢者と小学生・中学生が交流できる環境づくり、機会づくりを進めます。



高齢者大学(合同開講式)

○魅力ある図書館サービスの提供 【継続】

「図書館ビジョン」に基づき、資料の収集、レファレンスサービスの充実、市民センター図書コーナーの充実に努めるなど、あらゆる世代に応じた図書館サービスを提供します。また、神戸大学と連携し、地域資料の整理・保存と、郷土資料等の電子書籍化を計画的に行います。



クリスマス会



日本遺産企画展

○視聴覚機器を活用した教育活動の支援と地域映像の活用 【継続】

「視聴覚ライブラリービジョン」に基づき、視聴覚機器を活用して教育活動を支援するとともに、人づくり・まちづくりにつながる視聴覚資料を制作します。また、地域の出来事やまちづくりの取り組みを映像で記録・保存し、インターネットを活用して広く周知します。



まるいのTVの収録

5-3 生涯スポーツの充実

○スポーツ活動の充実と推進 【継続】

スポーツを通じた健康づくりと誰もが取り組めるスポーツの普及・啓発を行うため、スポーツ推進委員会による活動を推進します。また、篠山ABCマラソン大会を継続して開催します。



体育協会主催「スポーツの日」

○SASAYAMA2020 【継続】

東京オリンピック・パラリンピックに向け、ホッケー競技の普及・啓発を核として、市民のスポーツ活動に対する機運を高め、生涯スポーツ社会の実現をめざします。

○畑グラウンド施設の整備 【新規】

旧畑小学校(畑複合教育施設)グラウンドを、サッカーの試合が開催できる多目的グラウンドとして整備し、地域住民のスポーツの拠点施設として広く活用します。



わくわくホッケースタジアム

施策の基本方向6 文化・自然遺産を生かした教育・まちづくりの推進

6-1 文化財と町並みの保存・活用

○篠山市歴史文化基本構想推進事業の実施 【継続】

「歴史文化まちづくり資産」の一体的な保存・活用を図るとともに、地域の歴史文化を活かしたまちづくり事業を募集し、事業助成による支援を継続します。



春日神社例祭

○篠山地区と福住地区における町並みの保存と活用 【継続】

篠山地区、福住地区の重要伝統的建造物群保存地区内にある伝統的建造物等の保存修理と保存地区のまちづくりを地区住民と連携して進めます。